

主催：文化庁／公益社団法人日本バレエ協会 制作：公益社団法人日本バレエ協会

# Ballet Création

PERFORMANCE FOR JAPANESE CHOREOGRAPHERS AND CHOREOGRAPHY

## クレアシオン

Choreographer

**ERI MATSUZAKI**

松崎 えり 振付作品

*sinine*

Choreographer

**KEIGO FUKUDA**

福田 圭吾 振付作品

*The Overview Effect*

Choreographer

**YASUTAKE SHIMAJI**

島地 保武 振付作品

思いの果てにある風景

11月13日(土)

午後4時30分開場 5時開演

13th Nov. 2021

メルパルクホール  
MIELPARQUE HALL

写真：2019年度Balletクレアシオンより 平山素子振付 "Sarcophagus"

チケット：S = ¥6,600 / A = ¥5,500  
〈お求めは下記へ〉

■チケット裏面にお名前、緊急連絡先、座席番号のご記入をお願いしております。

(公社)日本バレエ協会 TEL. 03-6304-5681

FAX.03-6304-5682

Mail : info@j-b-a.or.jp

照明：足立恒 (Impression) 装置：ユニ・ワークショップ  
音響：矢野幸正 (アートスタジオY's) 舞台監督：堀尾由紀

制作担当：岸辺光代 (チーフ) / 篠原聖一

協賛：Chacott チャコット株式会社

■新型コロナウイルス感染状況により公演の中止、又は延期の可能性がございます。  
11月に入りましたら日本バレエ協会ホームページ <http://www.j-b-a.or.jp> にて  
必ず状況をご確認下さい。またチケットは千鳥格子状にて販売の可能性  
もございます。予めご了承下さい。

## sinine

振付：松崎 えり

音楽：BALANESCU QUARTET、Max Richter 他  
バレエ・マスター：坂田 尚也

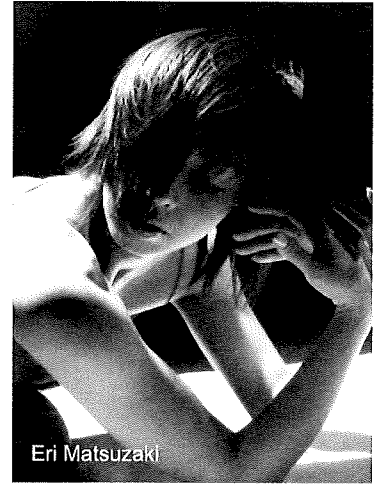
キム・セジョン

赤池 悠希 坂田 尚也

青木 葉鈴 伊藤のどか 岸 優里 小林 汀 佐藤 鴻  
清水祐紀風 田代 夏花 常田 萌絵 寺島 名織 土佐林理子  
長瀬 瑠依 中谷 夏葉 福田つぐみ 細井 佑季 堀越 美保  
吉田 七海

松崎えりプロフィール：幼少より母松崎すみ子の元でバレエをはじめ、後にモダンダンス(故 庄司裕に師事)、コンテンポラリーダンス(能美健志に師事)を学ぶ。1995年 台湾国立芸術学院舞踊科に講師、振付家として滞在、1997年にはWIEN WIEN INTERNATIONAL DANCE FESに奨学生として参加。2001年 イリキリアン、中村恩恵作品「Black Bird」に中村の他 唯一の出演者として選ばれ 世界初演より出演。同作品で Holland Dance FES, Wien Dance FES, 彩の国さいたま芸術劇場キリアンフェスティバルに出演。2003年 文化庁芸術家在外研修員としてフランスほかで研修。自ら演出、振付を手がける<noon>を立ち上げ、国内外で活躍するアーティストとともに公演活動を行い、新国立劇場主催 Dance Plat Form、韓国仁川ダンスフェスなどへも出品、ベルギー Casino Berlingen 劇場より委託を受け 単独公演を行う。近年も東京芸術劇場、アーツ千代田3331などで作品発表。振付家としてNeo Ballet, 札幌ドリームオブダンサーズ等に招かれている。

● 作品名の語源はエストニア語の“蒼”



Eri Matsuzaki

## The Overview Effect

振付：福田 圭吾\*

音楽作曲：平本 正宏  
映像デザイン：高岡 慎也

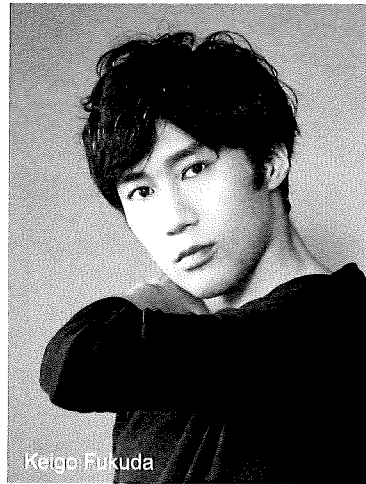
バレエ・ミストレス：横山 柊子

米沢 唯\* 福岡 雄大\*

木下 嘉人\* 宇賀 大将\* 小野寺 雄\* 福田 紘也\* 廣田 奈々\*

池ヶ谷 奏 石川 遥香 石橋沙也果 今村 夏乃 小幡 真玲  
鈴木 夢生 田代 幸恵 千葉 涼火 中野 百花 新名かれん  
古尾谷莉奈 森 加奈

\* 印 新国立劇場バレエ団所属



Keigo Fukuda

福田圭吾プロフィール：大阪府出身。3歳からケイ・バレエスタジオにてバレエを始める。同スタジオで矢上香織、久留美、恵子に師事。03年ローザンヌ国際バレエコンクールでプロフェッショナル・スカラシップを受賞。同年英国バーミンガム・ロイヤル・バレエで研修し、06年新国立劇場バレエ団に入団。09年トワイラ・サープの『プッシュ・カムズ・トゥ・ショヴ』でプリンシパルに抜擢され、好評を博し、19年『アラジン』で主役を踊る。10年ソリスト、12年ファースト・ソリストに昇格。古典、現代バレエ、創作を問わず様々な作品で主要な役を踊りこなしている。近年では新国立劇場「Dance to the Future」にて自身の作品を多数発表し、また「DAIFUKU」では新感覚パフォーマンスの演出振付を務めるなど振付家としての活動にも評価が高い。

## 思いの果てにある風景

振付：島地 保武

演奏・作曲：藤元 高輝

音楽：モーリス・オアナ、ヨハン・セバスティアン・バッハ、

アルベルト・ヒナステラ、ハンス・ヴェルナー・ヘンツェ、藤元 高輝

バレエ・ミストレス：酒井 はな

五十嵐結也

池田 武志

猪野なごみ

大木満里奈

大宮 大奨

岡本 優

梶田 留以

島地 保武

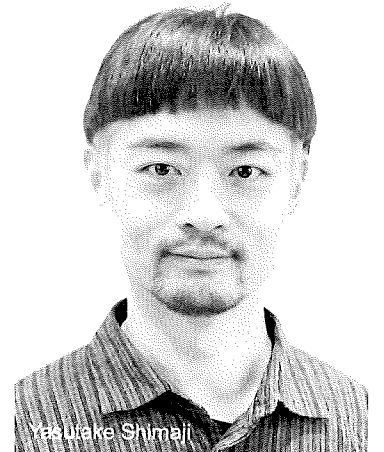
五島茉佑子

フルフォード佳林

宝満 直也

堀江 将司

島地保武プロフィール：2004-06年Noism(新潟市)、2006-15年ザ・フォーサイス・カンパニー(フランクフルト)に所属。2013年に酒井はなのユニットAltneuを結成。2014年に「NHKバレエの饗宴」にAltneuで出演。資生堂第七次椿会メンバーに選出され、パフォーマンスに加えインスタレーション作品を展示。近年の作品には2016年愛知県芸術劇場製作で環ROYと共作共演の『ありか』、2017年アレッシオ・シルベストリンと共作共演『短い影』、谷桃子バレエ団『Sequenza』。アーツ前橋「アートの秘密」展にインスタレーション作品『正午』と『震える影を床に落とす』を出品する。2018年Noism2『私を泣かせてください』、鳥取県文化振興財団制作『夢の破片』、衣装家ひびのこづえ×音楽家川瀬浩介×島地保武で『FLYFLYFLY』。フランス国立シャイヨー劇場のレジデンスプログラム(ファブリック・シャイヨー)に日本人で初めて選ばれ滞在制作を『Otono e』を創作。神奈川芸術劇場KAAT制作で映像作家さわひらきと共に舞台作品『Slits』を創作しAltneuで出演。2019年新国立劇場バレエ団研修所公演「エトワールへの道程」で『彩雲-iridescent clouds-』を振付。ひびのこづえ×川瀬浩介×Altneuで『Piece to Peace』、ウィリアム・フォーサイス『A Quiet Evening of Dance』に参加。2020年『ありか』パリ日本文化会館で公演。HOMME PLISSÉ ISS EY MIYAKE SS 2021 COLLECTIONに振付。長塚圭史演出『イヌビト〜犬人〜』に出演。2021年マリーナ・マスカレル『Bird Dog』に参加。新国立劇場主催「舞姫と牧神達の午後」で『かそけし』を発表。TVC M、MVなどに振付、出演もする。MIHO BALLET SCHOOL 講師。



Yasuhiro Shimaji